

感染状況・医療提供体制の分析 (1月6日時点)

区分	モニタリング項目	前回の数値 (12月29日公表時点)	現在の数値 (1月6日公表時点)	前回との比較	(参考) これまでの最大値※6	項目ごとの分析※4	
感染状況	①新規陽性者数※5 (うち65歳以上)	751.0人 (93.6人)	1029.3人 (126.6人)	↑	751.0人 (2020/12/29)	総括コメント 感染が拡大していると思われる	
	②#7119 (東京消防庁救急相談センター)※1における発熱等相談件数	67.9件	109.9件	↑	117.1件 (2020/4/5)	新規陽性者数の増加を徹底的に抑制しなければならない。 接触歴等不明者の増加比は、高い水準で増加しており、実効性のある強い感染拡大防止策をただちに行う必要がある。	
	③新規陽性者における接触歴等不明者※5	数	475.6人	697.6人	↑		475.6人 (2020/12/29)
		増加比※2	134.0%	138.1%	↑		281.7% (2020/4/9)
	個別のコメントは別紙参照						
医療提供体制	④検査の陽性率 (PCR・抗原) (検査人数)	8.4% (8,085.3人)	14.4% (6,799.3人)	↑	31.7% (2020/4/11)	総括コメント 体制が逼迫していると思われる	
	⑤救急医療の東京ルール※3の適用件数	60.9件	79.6件	↑	100.0件 (2020/5/5)	入院患者数は約3,000人と非常に高い水準の中で増加が続いており、医療提供体制が危機的状況に直面している。破綻を回避するためには、新規陽性者数を減らし、重症患者数を減少させることが最も重要である。	
	⑥入院患者数 (病床数)	2,274人 (3,500床)	3,090人 (4,000床)	↑	2,274人 (2020/12/29)		
	⑦重症患者数 人工呼吸器管理 (ECMO含む) が必要な患者 (病床数)	84人 (220床)	113人 (250床)	↑	105人 (2020/4/28,29)		
個別のコメントは別紙参照							

※1 「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口  
 ※2 新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、絶対値で評価  
 ※3 「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案  
 ※4 分析にあたっては、上記項目以外にも新規陽性者の年齢別発生状況などの患者動向や病床別入院患者数等も参照  
 ※5 都外居住者が自己採取し郵送した検体による新規陽性者分を除く。  
 ※6 前回の数値以前までの最大値



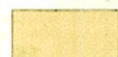

# 総括コメントについて

## 1 感染状況

### <判定の要素>

- いくつかのモニタリング項目を組み合わせ、地域別の状況等も踏まえ総合的に分析

### <総括コメント（4段階）>





-  感染が拡大していると思われる
-  感染が拡大しつつあると思われる／感染の再拡大に警戒が必要であると思われる
-  感染拡大の兆候があると思われる／感染の再拡大に注意が必要であると思われる
-  感染者数の増加が一定程度にとどまっていると思われる

## 2 医療提供体制

### <判定の要素>

- モニタリング項目である入院患者や重症患者等の全数に加え、その内訳・内容も踏まえ分析  
例) 重篤化しやすい高齢者の入院患者数
- その他、モニタリング項目以外の病床の状況等も踏まえ、医療提供体制を総合的に分析

### <総括コメント（4段階）>

-  体制が逼迫していると思われる
-  体制強化が必要であると思われる
-  体制強化の準備が必要であると思われる／体制強化の状態を維持する必要があると思われる
-  通常の体制で対応可能であると思われる

東京都から提供される患者情報（国立市）の週ごと一覧

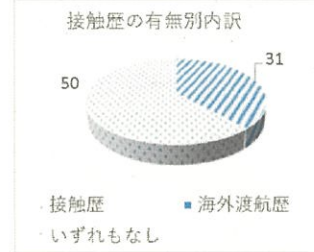
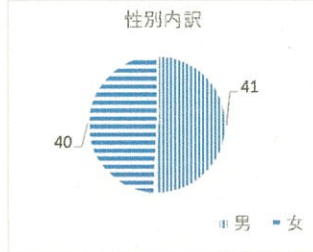
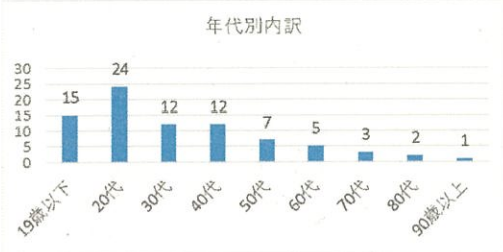
※9月より提供開始

※東京都リリース日（区市町村公表前日）で記載

月	火	水	木	金	土	日	人数	内 訳																
								年 代									性 別		接触歴等の有無					
								19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	男	女	接触歴	海外渡航歴 いずれもなし				
9月	1	2	3	4	5	6	36週	1					1						1	1				
	7	8	9	10	11	12	13	37週	3		2		1						2	1		3		
	14	15	16	17	18	19	20	38週	6	2	1	1		1	1			1	5	4		2		
	21	22	23	24	25	26	27	39週	2		1						1		1	1		1		
	28	29	30	1	2	3	4	40週	3	1	1	1						3		1		2		
10月	5	6	7	8	9	10	11	41週	1			1							1	1				
	12	13	14	15	16	17	18	42週	1					1					1			1		
	19	20	21	22	23	24	25	43週	3	1	1		1					1	2	3				
	26	27	28	29	30	31	1	44週	4		1		3					2	2	2		2		
11月	2	3	4	5	6	7	8	45週	2	1	1							2				2		
	9	10	11	12	13	14	15	46週	4		2	2						2	2			4		
	16	17	18	19	20	21	22	47週	6		2		1	1		2		3	3	2		4		
	23	24	25	26	27	28	29	48週	6		2	1			2		1	0	2	4	2	4		
12月	30	1	2	3	4	5	6	49週	1		1							1				1		
	7	8	9	10	11	12	13	50週	7		2	1	2	1	1			3	4	3		4		
	14								0															
		15							3	2				1				2	1			3		
			16						1		1							1				1		
				17					13	1			1					1	1					
					18				6	3				2			1	2	4	3		3		
						19			1			1						1				1		
							20		1		1							1				1		
								21	2		2							1	1	1		1		
									5	3		1	1					3	2	3		2		
									1				1						1			1		
									18	5	1	1	2			1		4	1	2		3		
									1	1								1				1		
									4		2	2						2	2	1		3		
									0															
									0															
									2															
									1															
									13	3														
									5															
									2															
1月									3															
									5															
									2															
									3															
									15															
									24															
									12															
									12															
									7															
									5															
									3															
									2															
									1															
									41															
									40															
									31															
									0															
									50															
									合計	94	15	24	12	12	7	5	3	2	1	41	40	31	0	50

9月1日から12月28日リリース分まで（計81人）の患者情報（属性内訳）

（単位…人）



累計患者数（4月1日から1月5日）

126人      うち退院等している人 89人

月別患者数（1月分は5日時点までを記載）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
6	1	1	6	13	16
10月	11月	12月	1月		
9	19	45	10		

43

83

19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	男	女	接触歴	海外渡航歴 いずれもなし	
15	24	12	12	7	5	3	2	1	41	40	31	0	50

国立市医師会長（さくら通りクリニック院長） 春日井先生コメント

令和3年1月6日

(感染状況・対策について)

感染拡大が12月から続いているのは、感染対策に留意した行動がとれていないのではないかと。飲食店の感染リスクは高く近づかないことが賢明ではあるが、経路不明の割合が多くなっており、感染スポットどころかということではなくなっている。

マスクをして距離を取ったうえで会話をする、手洗いをしっかりすることの徹底が必要。高齢者と同一世帯または仕事で高齢者と関わる方は、特に注意をして欲しい。

体調は悪いが、がんばって出社というのはやめてほしい。5日休むことができれば全然違うと思う。

季節性インフルエンザについては、検査数も減っているだろうが、気を付けていることの成果が見えている。このくらい頑張れば流行を抑えられる病気であることが今回わかった、と感じる。他の感染症も少ない。今までは、手洗い・うがいなどが不足していたようだ。

(年末年始の状況について)

細かい実績はまだだが、休日診療センターについて、実際に来院された方は少なかった。電話対応のみの方の中で、PCR検査を見越して府中市医師会を紹介した方も少なかった。

(新型コロナウイルスワクチン接種について)

例えば、ファイザー社のワクチンを使うならディープフリーザーをどうするか、そこから接種場所へのワクチンの移送をどうするかなど、詳細をよく詰めたうえで、個別接種にどう協力できるかを考えたい。

(その他)

風邪症状があるのに、電話なしで来院する人がまだいる点に困っている。

※コメントにあたっての資料…

東京都から提供される患者情報（国立市）の週ごと一覧（1月2日分まで）

## ■ 市役所・福祉会館 年末年始相談対応 まとめ

## ○ 市役所

	生活困窮・生活保護			自宅待機者等 生活支援	各課要配慮者対 応(地域包括支援 センターほか)	その他	合計
	年末年始 緊急生活相談	通常業務相談(返 還金、医療券等)	その他				
12月29日		3	1				4
12月30日			1		1	1	3
12月31日		1		2	1		4
1月1日				1	1		2
1月2日					1		1
1月3日							0
合計	0	4	2	3	4	1	14

※29日、30日の「生活困窮・生活相談」の「その他」は、生活困窮者に対する支援を行っている団体の方から、住所不定の方など、緊急の生活相談が寄せられた場合に協力する旨の話があったもの。□

※30日の「その他」は、健康相談であったため、保健センターを案内したものの。

## ○ 福祉会館（社会福祉協議会）

	年末年始 緊急生活相談	フードポ ートの利 用	ひとり親 応援パ ックの 提供	通常業務 相談	要配慮者 対応(認 知症高 齢者来 所対応)	合計
12月29日			4	33		37
12月30日		1	4	4	1	10
12月31日			1		2	3
1月1日						0
1月2日			1	1	1	3
1月3日				4	1	5
合計	0	1	10	42	5	58

## 年末年始 保健センター相談集計表

	12/29 (火)	12/30 (水)	12/31 (木)	1/1 (金)	1/2 (土)	1/3 (日)	計
有症者の相談（発熱・咳・倦怠感等）	5	6	6	8	6	5	36
接触者の連絡・検査に関すること	4	3	3	0	2	4	16
自宅待機者等生活支援事業の相談・申込み	0	0	2	4	0	0	6
新型コロナウイルスの一般相談	4	1	0	0	0	0	5
保健センター通常業務に関すること （発熱・咳等でない症状の相談・福祉サービスの相談含む）	2	4	0	1	1	0	8
計	15	14	11	13	9	9	71

国の緊急事態宣言（令和 2 年 1 月 8 日～2 月 7 日）下における市の方針（案）

緊急事態宣言下においても、市民が安心できるよう、市のセーフティネット機能を活かし、健康相談（保健センター）や自宅待機者支援（陽性者やその家族への物資配達等）を継続するとともに、市民に周知していく。

国の緊急事態宣言発動に伴い要請される「午後 8 時以降の外出自粛」については、市HP、ツイッター、掲示板、デジタルサイネージ等を活用して市民に周知していく。

市が行う各事業については基本的に継続する。特に、顔を合わせて行う事業については、感染対策をより徹底するとともにリモート等も駆使して継続実施できるように工夫していく。

公共施設については基本的に終了時間まで開館する。なお、国、都が午後 8 時以降の不要不急の外出自粛を要請することを踏まえ、施設の利用団体へは午後 8 時以降の利用自粛のよびかけを行う。

土曜開庁（第 2・4 土曜日）は感染対策を実施したうえで、通常通り実施する。併せて、来庁せずに可能な手続きについても周知する。

庁内においては、土日勤務や時差勤務の積極活用、通勤方法の変更、職場における感染防止対策の励行、配慮の必要な職員への対応等は従来のとおり行う。

なお、国及び都の対処方針の内容によっては、市の対処方針に改変・修正等を加えるものとする。



令和3年1月4日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

## 「新型コロナウイルス ワクチン接種対策室」の設置について

新型コロナウイルスワクチンの接種は、平時の予防接種と比べ、大規模な接種体制を速やかに整備する必要があり、市町村においても実施体制の確保が求められています。

市では、その接種体制を確保するため、健康福祉部内に「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を新たに設置します。

今後は、「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を中心に全庁的な支援体制のもと、ワクチン接種の実施に向けて準備を進めていきます。

このことを広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

### 記

#### 【新たに設置する組織について】

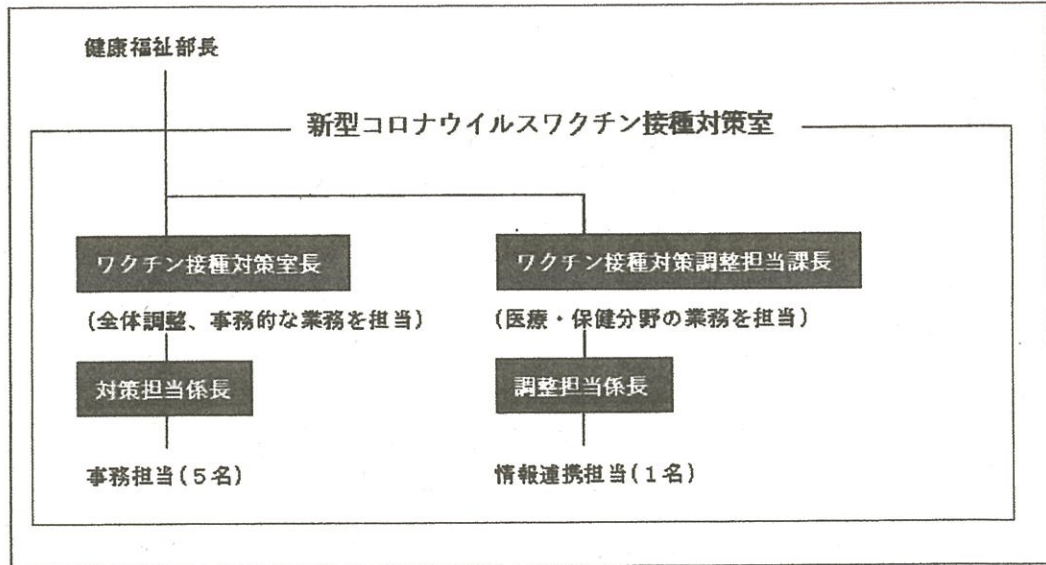
1. **組織の名称** 新型コロナウイルスワクチン接種対策室
2. **設置日** 令和3年1月12日(火)
3. **組織規模** 10名(うち7名は兼務)  
課長級2名、係長級2名、主事5名、会計年度任用職員1名  
(今後の状況により見直しの可能性あり)

裏面あり





#### 4. 組織イメージ



以上

問い合わせ

国立市政策経営部 政策経営課  
TEL : 042-576-2111 (内線 224)